



PORSCHE



# ロサンゼルスモーターショー 2016

プレス・インフォメーション

# 目次

ロサンゼルスモーターショー2016のポルシェ

**長距離のための2台が世界デビュー：パナメーラ エグゼクティブと911 RSR** 3

拡張を続けるパナメーラ:ロングバージョンとエントリーレベルの新しい3リッター V6ターボエンジン

**パナメーラ、パナメーラ4、およびパナメーラ エグゼクティブモデルのデビュー** 5

史上最も華々しい911

**ル・マンのためのニュー911 RSR** 7

## 燃費とCO<sub>2</sub>排出量\*

パナメーラ:複合燃費7.6-7.5リッター/100km、市街地9.8-9.7リッター/100km、郊外6.3リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:173-171g/km

パナメーラ4:複合燃費7.8-7.7リッター/100km、市街地9.9-9.8リッター/100km、郊外6.5-6.4リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:177-175g/km

パナメーラ4 エグゼクティブ:複合燃費7.9-7.8リッター/100km、市街地10.0-9.9リッター/100km、郊外6.7-6.6リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:180-178g/km

パナメーラ4S:複合燃費8.2-8.1リッター/100km、市街地10.2-10.1リッター/100km、郊外6.8-6.7リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:186-184g/km

パナメーラ4S エグゼクティブ:複合燃費8.3-8.2リッター/100km、市街地10.4-10.3リッター/100km、郊外6.9-6.8リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:189-187g/km

パナメーラ4S Diesel:複合燃費6.8-6.7リッター/100km、市街地7.9リッター/100km、郊外5.9-5.8リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:178-176g/km

パナメーラ ターボ:複合燃費9.4-9.3リッター/100km、市街地12.9-12.8リッター/100km、郊外7.3-7.2リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:214-212g/km

パナメーラ ターボエグゼクティブ:複合燃費9.5-9.4リッター/100km、市街地13.1-12.9リッター/100km、郊外7.4-7.3リッター/100km、CO<sub>2</sub>排出量:217-215g/km

パナメーラ 4 E-ハイブリッド:複合燃費2.5リッター/100km、エネルギー消費量15.9kWh/100km、CO<sub>2</sub>排出量56g/km

パナメーラ 4 E-ハイブリッドエグゼクティブ:複合燃費2.5リッター/100km、エネルギー消費量15.9kWh/100km、CO<sub>2</sub>排出量56g/km

\* 使用するタイヤセットに応じた範囲

## 長距離のための2台が世界デビュー： パナメーラ エグゼクティブと911 RSR

ポルシェは、ロサンゼルスモーターショー(11月18日-27日)において、全く異なる特徴を備えた長距離スポーツカーのパナメーラ エグゼクティブバージョンと完全に新開発された911 RSRの2台を世界に向けて初公開します。延長したホイールベースを備えたパナメーラ エグゼクティブは、後席の快適性をさらに強化した4シーターグランツーリスモです。一方の911 RSRは、サーキットでの耐久レースのために開発されています。空気力学的にリファインされたこのマシンは、ポルシェのモータースポーツのGTトップモデル史上、最も大きな進化を遂げています。

### スポーティな快適性を備えたロングバージョン： パナメーラ エグゼクティブの世界デビュー

ニューパナメーラ エグゼクティブモデルは、ロングホイールベースを備えたグランツーリスモのラグジュアリーバージョンで、ダイナミックな性能と抜群の快適性を兼ね備えます。このロングバージョンによって、ポルシェは後席に最大のスペースを必要とする顧客のニーズを満たします。パナメーラ ターボエグゼクティブ(404kW/550PS)、パナメーラ4SEグゼクティブ(324kW/440PS)、プラグインハイブリッドドライブを備えたパナメーラ4 E-ハイブリッドエグゼクティブ(340kW/462PS)、新しい3リッターV6ターボエンジンを備えたパナメーラ4エグゼクティブ(243kW/330PS)の4つのバージョンが用意されており、ロサンゼルスでワールドプレミアとなります。

4つの全モデルが150mm拡張された同じボディを共有し、特に後席乗員にメリットをもたらします。追加のスペースによってレッグルームが拡張され、快適性をいっそう高めます。さらに、エグゼクティブ全モデルの装備が強化されています。標準装備には、アダプティブエアサスペンション、パノラミックルーフシステム、リアのコンフォートヘッドレスト付電動コンフォートシート、フロントとリアのシートヒーター、およびリアのロールアップサンブラインドなどが含まれます。パナメーラ4SEグゼクティブには、パワーステアリング・プラス付リアアクスルステア、リアビューカメラ、ソフトクローズドアなどのさらに精緻な機能が追加されます。トップモデルのパナメーラ ターボエグゼクティブには、4ゾーンクライメートコントロール、ポルシェ・ダイナミック・ライトシステム(PDLS)を含むLEDヘッドライト、およびアンビエントライトを含む最も広範な標準装備が備わります。

## 未来の覇者：新しい長距離レーシングカー911 RSR

完全に新開発されたニュー911 RSRは、シャシー、ボディ構造、エンジン、およびトランスミッションがゼロから設計されています。911のエアロダイナミクスコンセプトがこれほど急進的であったことはかつてありませんでした。このモデルには919ハイブリッド同様の張り出したリアウイングが備わります。これは大型のリアディフューザーとの組み合わせで、ダウンフォースと空気力学的効率を大幅に改善します。カーボンファイバーシェル下の最も注目し値する革新が、リアアクスル前部に搭載された水平対向6気筒エンジンです。ポルシェは、この新しいレーシングカーによって、1998年のル・マン24時間レースでポルシェに16回目の総合優勝をもたらした911 GT1のコンセプトを再定義します。ニュー911 RSRの原動力には、911 GT3 Rや911 GT3 Cup同様に最新の水平対向6気筒が採用されています。ダイレクト・フューエル・インジェクションとリジッドバルブドライブを備えた4リッター自然吸気エンジンは、最高出力510PSを発生します。

米国での911 RSRの初公開は、ロサンゼルスモーターショーにおけるダブルワールドプレミアの一環です。実戦デビューは2017年1月に米国東海岸のデイトナで開催される24時間レースを予定しています。

米国は、ポルシェの主要販売市場のひとつであり続けています。2016年10月までのポルシェの世界中での販売台数は178,314台で、前年同期を3%上回っています。この成功はお客様による高い評価によるもので、ポルシェは、米国マーケティング調査機関J.D.パワー社による「自動車商品魅力度調査」(APEAL)において、2016年に再び総合首位に輝きました。さらに、ポルシェ911、ボクスター、およびマカンも各カテゴリーの1位を獲得しました。

## パナメーラ、パナメーラ4、およびパナメーラ エグゼクティブモデルのデビュー

ポルシェは、ニューパナメーラのモデルレンジの拡張を継続し、ロサンゼルスモーターショーにおいて、243kW(330PS)の新型V6ターボエンジンを搭載したラグジュアリーサルーンと、ボディを延長したエグゼクティブバージョンを発表します。新型V6ターボは、パナメーラの先代エンジンの最高出力を20PS上回りながら、燃料消費量は1.0リッター/100km低減されています。後輪駆動のパナメーラ、4WDのパナメーラ4、さらにロングホイールベースのパナメーラ4エグゼクティブに新しい330PSエンジンが搭載されます。

最高出力330PSを備えたパナメーラとパナメーラ4は、エントリーレベルへの期待を定義し直し、150mm長いホイールベースを備えたエグゼクティブモデルは、トップエンドとしてボディと装備を拡張します。ショーファードリブンとして設計されたロングバージョンには、4WDのパナメーラ4エグゼクティブ(243kW/330PS)、パナメーラ4 E-ハイブリッドエグゼクティブ(340kW/462 PS)、パナメーラ4SEグゼクティブ(324kW/440PS)、およびパナメーラ ターボエグゼクティブ(404kW/550PS)が用意されています。

ニューポルシェパナメーラ エグゼクティブは、さらに上級の装備を備えます。標準装備に、大型パノラミックルーフ、フロントとリアのマルチウェイ電動調節式コンフォートシート(ヒーター付)、電子制御ダンパーシステム(ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム/PASM)を含むアダプティブエアサスペンション、および後席ヘッドレスト後方のロールアップサンブラインドが追加されます。パナメーラ4SEグゼクティブとパナメーラ ターボエグゼクティブには、リアアクスルステアとソフトクローズドアも標準装備されます。最もパワフルなモデルのパナメーラ ターボエグゼクティブには、4ゾーンクライメートコントロール、ポルシェ・ダイナミック・ライトシステム(PDLS)を含むLEDヘッドライト、およびアンビエントライトなども追加されます。

ポルシェパナメーラ エグゼクティブ全モデルに、2組の折り畳み式テーブルとスマートフォン用インダクティブアンテナ接続(市場による)も装備可能な新開発の大型リアセンターコンソールがオプションで用意されています。エグゼクティブバージョンのエクステリアは、既存のパナメーラ モデル同様に、スポーツデザインパッケージによってさらに個性化することができます。

特に中国と米国でショーファードリブンとして頻繁に使用されるエグゼクティブ仕様のもうひとつの便利な装備オプションが、最新世代のポルシェ・リアシートエンターテイメントです。フロントシートのバックレストに統合された10.1インチディスプレイは取り外して広範に使用することが可能です。必要なときにはパナメーラの後席が完全にデジタル化された仕事場に変わります。高品質ディスプレイは車外でもタブレットとして使用できます。

モデルラインについては、完全に新設計された第2世代パナメーラが2016年の夏に導入されました。4WDモデルのパナメーラ4S、パナメーラ4Sディーゼル(310kW/422PS)、パナメーラ4 E-ハイブリッド、およびパナメーラ ターボがすでに市販されています。新しい330PSバージョンとエグゼクティブモデルの追加によって、ポルシェパナメーラ レンジには最高出力330PSから550PSまでの10モデルが揃います。



## ル・マンのためのニュー911 RSR

ドイツ、ポルシェAG(本社:ドイツ、シュトゥットガルト 社長:Dr. オリバー・ブルーム)は、ゼロから新開発されたGTレーシングカーによって2017年のモータースポーツに取り組みます。ニュー911 RSRは、ル・マン24時間レースのGT規定に準拠しながら、体系的な軽量設計に加えてリアアクスル前部に最新式水平対向6気筒エンジンを搭載します。非常に軽量の4リッターエンジンは、ダイレクト・フューエル・インジェクションとリジッドバルブドライブを備え、抜群の効率性を特徴とします。ニュー911 RSRは、2017年1月にデイトナ24時間レースでデビューします。

911特有のデザインを維持しながら、GTのトップモデルとして史上最高の進化を遂げています」とポルシェ・モータースポーツ副社長のDr. フランク・シュテファン・バリサーは話します。完全に新開発されたニュー911 RSRは、サスペンション、ボディ構造、エアロダイナミクスコンセプト、エンジン、およびトランスミッションがゼロから設計されています。そのエンジンコンセプトによって特に大型のリアディフューザーの取り付けが可能になりました。LMP1レーシングカーの919ハイブリッドから採用したトップマウントリアウイングとの組み合わせで、ダウンフォースとエアロダイナミクスの効率性が大幅に改善されています。

911 RSRのために、私達は意図的に、特に軽量の最新の自然吸気エンジンに焦点を合わせました。これが車両の開発においてエンジニアに大きな自由を与えました。新しいLM-GTE規定は、ターボエンジンと自然吸気エンジンのトルク特性が一致するなど、原則として多彩なドライブコンセプトが完全に平等となるレギュレーションです」とDr. バリサーは説明します。新しい自然吸気エンジンは、リストリクターのサイズに応じて約375kW(510PS)の最高出力を発生します。ステアリングホイールのパドルシフトは、マグネシウムハウジングを備えた6速シーケンシャルトランスミッションを作動して、31cm幅の後輪にトルクを伝えます。911 GT3 Rと911 GT3 Cupに続き、ポルシェGTレーシングカーも、同様の最新式水平対向6気筒エンジンファミリーによって駆動されます。これにより新世代エンジンへの転換は完了しました。

かつてポルシェは、1996年に911 GT1によって911のコンセプトを徹底的に押し進めました。大きな成功を収めた911 GT1は、1998年のル・マン24時間レースでポルシェに16回目の総合優勝をもたらしました。当時はGT1クラスがル・マンにおけるトップカテゴリーでした。

ポルシェGTレーシングカーは、初めて最新のアシスタントシステムを備えます。ニュー911 RSRには、「コリジョン・アボイド・システム」と呼ばれるレーダーサポートによる衝突警告システムが装備されます。夜間にも、高速のLMPプロトタイプを早期に検知して接触を回避します。新しい安全ケージコンセプトと強固に取り付けられた新しいレーシングシートがドライバーの安全を強化します。シートはシャシーに固定され、ペダルを動かして調節し、ドライバーに適合させることができます。

ニュー911 RSRのサービスも大幅に改善されています。インテリジェントなクリックリリースファスナーによって、カーボンファイバーボディのエLEMENT全体を短時間で完全に交換することができます。さらに、サスペンションセットアップの変更をより簡単迅速に行うことができます。

911 RSRの外観は、ボディ全体に渡って新しい方向性を示します。GTレーシングカーは、ポルシェ モータースポーツの明確でダイナミックなデザイン言語をさらに発展させた新しいファクトリーデザインを備えます。鳥瞰すると、ポルシェのエンブレムを暗示するシルエットが見られます。ベーシックカラーは、ホワイト、レッド、およびブラックです。

ファクトリーは、2017年シーズンに140時間以上のレースに匹敵する19のレースでニュー911 RSRを走らせる予定です。ポルシェは、2台のファクトリーエントリーによってル・マン24時間レースを含むFIA世界耐久選手権(WEC)と米国のIMSAウェザーテック・スポーツカー選手権に参戦します。新しいレーシングカーは、1月28日-29日にデイトナのIMSA開幕戦において最も過酷な条件でデビューします。「レースに備えて十分な準備をしています。今年3月のヴァイザッハでの初公開以来、欧州と北米のサーキットで35,000kmにおよぶテスト走行を行ってきました。この距離は、他のどのポルシェGTレーシングカーの開発過程をも上回ります」とGTモータースポーツ総合プロジェクトリーダーのマルコ・ウジュハシは話します。